

レジメン登録フォーマット

申請年月日	令和5年11月28日	使用開始日	
登録診療科	乳腺外科	申請医師	小西宗治
レジメン名	フェスゴIN【初回】+パクリタキセル(3週1回) 初発		
疾患名	乳がん	HER2陽性乳がんの術前術後補助化学療法	
適応分類	術前術後補助化学療法	適応の備考	※パクリタキセル併用4コース(12週間投与)終了後、フェスゴ単剤を用いる。 パクリタキセル併用時からの術前術後合わせて、フェスゴは12ヶ月(最大18コース)使用する。
1コース日数	21 日間	総コース数	※初回・維持合計 4 コース 催吐性リスク 軽度
抗がん剤投与量・投与日	フェスゴIN day1、パクリタキセル175mg/m <sup>2</sup> day1		
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)	(day)		

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
1	なし																									
	皮下注射	フェスゴ配合皮下注【IN】	15 mL / body		●																					
		調製後4時間以内に使用 8分以上かけて皮下投与																								
2	主ルート	生食50mL	1 本 / body		●																					
	点滴静注	デキサート注6.6mg	2 本 / body	30 分	●																					
		デキサート注1.65mg	2 本 / body		●																					
		ファモチジン注20mg	1 本 / body		●																					
3	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●																					
	点滴静注	パクリタキセル注	175 mg / m <sup>2</sup>	3 時間	●																					
4	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																					
	点滴静注																									
	経口投与	レスタミンコーワ錠	5 錠 / body		●																					
		パクリタキセル投与の30分前																								

【投与上の注意】

パクリタキセル: 前投薬としてレスタミン5錠の内服、デキサート注、ファモチジン20mg静注が必要。  
 パクリタキセル: DEHPフリー(フィルターつき)点滴セット使用。0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを使用し投与すること。  
 パクリタキセル: アルコール不耐症がないことを確認する。

このレジメンは、フェスゴ(ペルツズマブ、トラスツズマブ)初回投与患者に使用する。(ただし、予定された投与が遅れた場合で、以下の条件にあてはまる場合も使用可)  
 フェスゴ皮下注: 何らかの理由により予定された投与が遅れた場合には、以下のとおり投与することが望ましい。

- ①前回投与日から6週間未満のとき: 維持投与量(フェスゴ MA)を投与する。
- ②前回投与日から6週間以上のときには、改めて初回投与量(フェスゴ IN)を投与し、次回以降は維持投与量(フェスゴ MA)を3週間間隔で投与する。

フェスゴ皮下注: 初回投与時は、8分以上かけて大腿部に皮下投与、2回目以降は、5分以上かけて大腿部に皮下投与する。

フェスゴ皮下注: 大腿部以外への投与は避ける。

フェスゴ皮下注: 注射部位反応が報告されているため、同一箇所へ繰り返し注射することは避け、左右の大腿部に交互に投与する等、前回の注射部位から少なくとも2.5cm離す。

フェスゴ皮下注: 皮膚が敏感な部位、皮膚に異常のある部位(傷、発疹、発赤、硬結等)には注射しないこと。

フェスゴ皮下注: 初回投与時は30分の経過観察、2サイクル目以降は、Infusion reaction等の問題がなく、忍容性が良好であれば、観察時間は15分まで短縮可

・パージェタ+トラスツズマブ(IV)からフェスゴに切り替える場合

パージェタ+トラスツズマブ(IV)の直近の投与日から6週間未満のときにはフェスゴMA(維持投与量)を、6週間以上のときにはフェスゴIN(初回投与量)を投与し、その後は3週間毎にMA(維持投与量)を投与する。

・フェスゴからパージェタ+トラスツズマブ(IV)に切り替える場合

フェスゴの直近の投与日から6週間未満のときにはパージェタ、トラスツズマブともに維持投与量(パージェタ: 420mg、トラスツズマブ: 6mg/kg)を、6週間以上のときにはパージェタ、トラスツズマブともに初回投与量(パージェタ: 840mg、トラスツズマブ: 8mg/kg)を投与し、その後3週間毎に維持投与量を投与する。